

人事・即応担当の国防次官が横田を訪問 *Under Secretary of Defense for Personnel and Readiness visits Yokota*

February 6, 2023

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

1月30日、在日米軍基地歴訪中のギルバート・シスネロス・Jr. 人事・即応担当の国防次官が、セイリーン・ミュールン保健担当の国防次官補代理と共に横田基地を訪れた。

シスネロス国防次官は、軍の即応体制、部隊管理、健康、州兵・予備役部隊、教育・訓練、軍・文民の人事・管理を担う、国防長官の首席補佐官及び顧問を務める。

また同役職において、機会均等、士気、福利厚生、レクリエーション、生活の質に関する事項を担当する。

横田に滞在中、国防次官は在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団の幹部と接見し、軍人とその家族のための医療体制、カミサリー、住宅、手当、人事の課題、軍族の子供たちの教育等について話し合った。

シスネロス国防次官とミュールン国防次官補代理は、第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐が主催・進行する横田基地の住民を対象としたタウンホール・ミーティング(全体集会)で壇上に上がった。

シスネロス国防次官は「多くの意見に耳を傾けるため、ここに来た」と述べ、「今日一日を通して、指揮系統のリーダーたちから日本特有にある課題について聞いてきた。我々が皆を支え続け総合的な力を維持していくには、どうより良く改善していけるか、皆の率直な意見を聞きたい」と聴衆に語り掛けた。

二人はこの後、他の4か所の在日米軍基地で同様の全体集会を開催する予定で、基地のコミュニティーから寄せられた声を持ち帰り、改善に取り組むこととしている。

